

## 第13期 バリアフリーチェック実施概要と意見一覧

### I 中央区複合庁舎整備事業（設計・施工段階）のバリアフリーチェックの概要

- 1 実施日時  
令和7年2月3日（月）
  
- 2 事業（施設）名称  
中央区複合庁舎整備事業
  
- 3 チェック時期  
施工段階
  
- 4 事業実施部局  
市民文化局地域振興部区役所整備担当係
  
- 5 チェック実施者  
札幌市身体障害者福祉協会 4名  
札幌市老人クラブ連合会 1名
  
- 6 チェック参加者  
公共的施設のバリアフリー部会委員 8名  
※オブザーバー 1名

## 7 バリアフリーチェック内容

	意見	考え方
1	<p><b>【駐車場】</b> 衝突回避するように車高制限の注意喚起をしっかりとした方がよい。</p>	<p><b>【駐車場】</b> 地下駐車場入口に車高制限のバーを設置予定です。 ※3/10時点、地下駐車場入口に車高制限のバーを設置済です。</p>
2	<p>車高が2m以上の車で来庁した際は車寄せの3台分の駐車場スペースを活用できないか。</p>	<p>車寄せの駐車スペースのうち1台分を福祉車両置き場とします。</p>
3	<p>2m以上の車が来た場合はどのような対応になるのか。冬期は足元が悪いため、近隣の駐車場を案内するという対応では不足があるのではないか。</p>	<p>上記のとおりです。</p>
4	<p>今回駐車場を利用するにあたって、ハイルーフのワゴン車が入口から入れず、出口から入庫した。電灯の位置を調整し入れるように調整することはできないか。</p>	<p>地下駐車場は2m制限としており、トラバー等により注意喚起を行います。 車高が2mを超える福祉車両は車寄せに駐車できるようにします。</p>
5	<p><b>【3階】</b> 3階待合が狭い印象を受けた。また、カウンター上のサインが小さい。字を大きくした方が良いのではないか。</p>	<p><b>【3階】</b> サインだけで利用者を誘導するのではなく、フロアマネージャーなどの人的なサポートを含めての案内となるため、不都合を感じる場面は少ないと思われます。</p>
6	<p>3FのEVを降りてから案内カウンターの位置が遠いように思った。視覚障害者以外も足の不自由な方の為にも歩く距離を短くしてもらいたい。</p>	<p>エスカレーター・エレベーターどちらから来庁してもスムーズな滞留ができるように現在調整を行っています。 ※3/10時点、バリアフリーチェック時の位置よりエレベーター側に案内カウンターの位置を移動しています。また、エレベーター降りてすぐの場所にフロアマネージャーを配置していますので、不必要な移動がないようにしています。</p>
7	<p>カウンター上の文字（各課）のコントラストが小さくて見えづらい。</p>	<p>配色については、CUDに基づき、すべての人に判別しやすい色としています。</p>

8	カウンターに設置してあった、杖・傘を掛ける部品が取れやすい。	取付方法の見直しなどを行い、取れにくいようにいたします。
9	【1階】 トイレまで誘導鉄が欲しい。	【1階】 誘導用ブロックは車いすの走行阻害やつまづきの原因になることも想定されるため、1階の総合案内スタッフが必要に応じて目的の場所へ案内します。
10	庁舎入口階段の段鼻の色は変わっているのか。	段鼻の色を変えることで視認性に配慮しています。
11	点字のついた案内図に点字ブロックで誘導できていないのではないのか。	誘導用ブロックは車いすの走行阻害やつまづきの原因になることも想定されるため、1階の総合案内スタッフが必要に応じて目的の場所へ案内します。
12	案内図の点字で男女の分けが判別できないのではないのか。	1階の総合案内スタッフが必要に応じて目的の場所へ案内します。なお、トイレ内案内図にはトイレ入口に男女の分けがわかるような点字が設置されています。
13	【各階】 床材をタイルカーペットを採用にした理由は何か。	【各階】 タイルカーペットとすることで、吸音性や快適性に配慮した。汚れが想定される保健福祉課等はビニールシートを使用しています。
14	【イートインスペース】 イートインスペースの整備予定はあるか。公共施設側での整備はあるのか。	【イートインスペース】 1階の物販施設(セコマ)内にて設置予定です。公共施設としては整備の予定はありません。 ※3/10時点、中央区複合庁舎の供用開始(2/25)と同時にセコマをオープンしています。

・事業名称

中央区複合庁舎整備事業

・事業場所

札幌市中央区南3条西11丁目

・敷地面積

約4,000㎡

・延べ面積

約20,000㎡

・用途

1、2階 : 区民センター

4階 : 保健センター

3、5、6階 : 区役所

地下1、2階 : 駐車場

・工事期間

2022年～2024年度

・供用開始予定

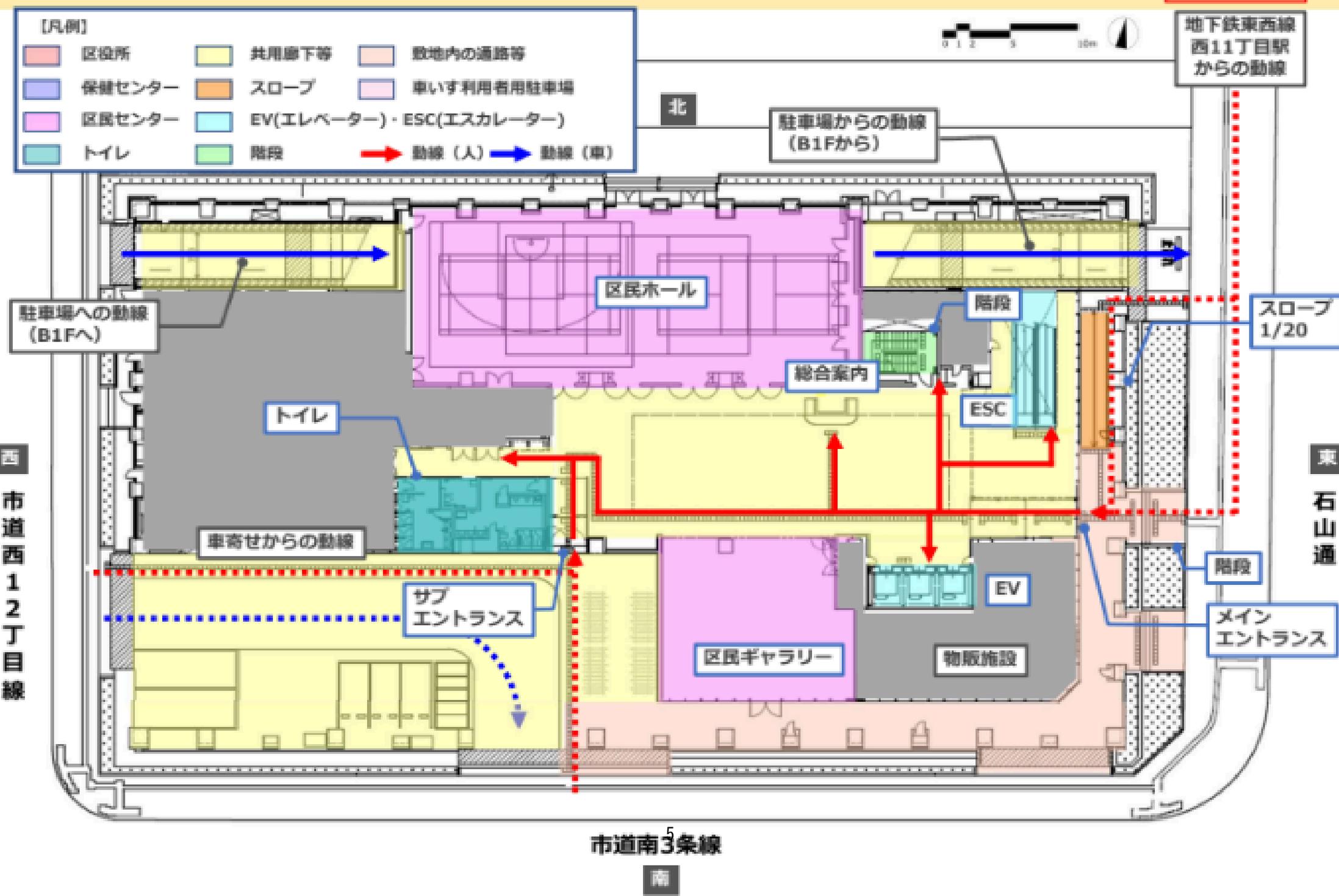
2025年2月25日



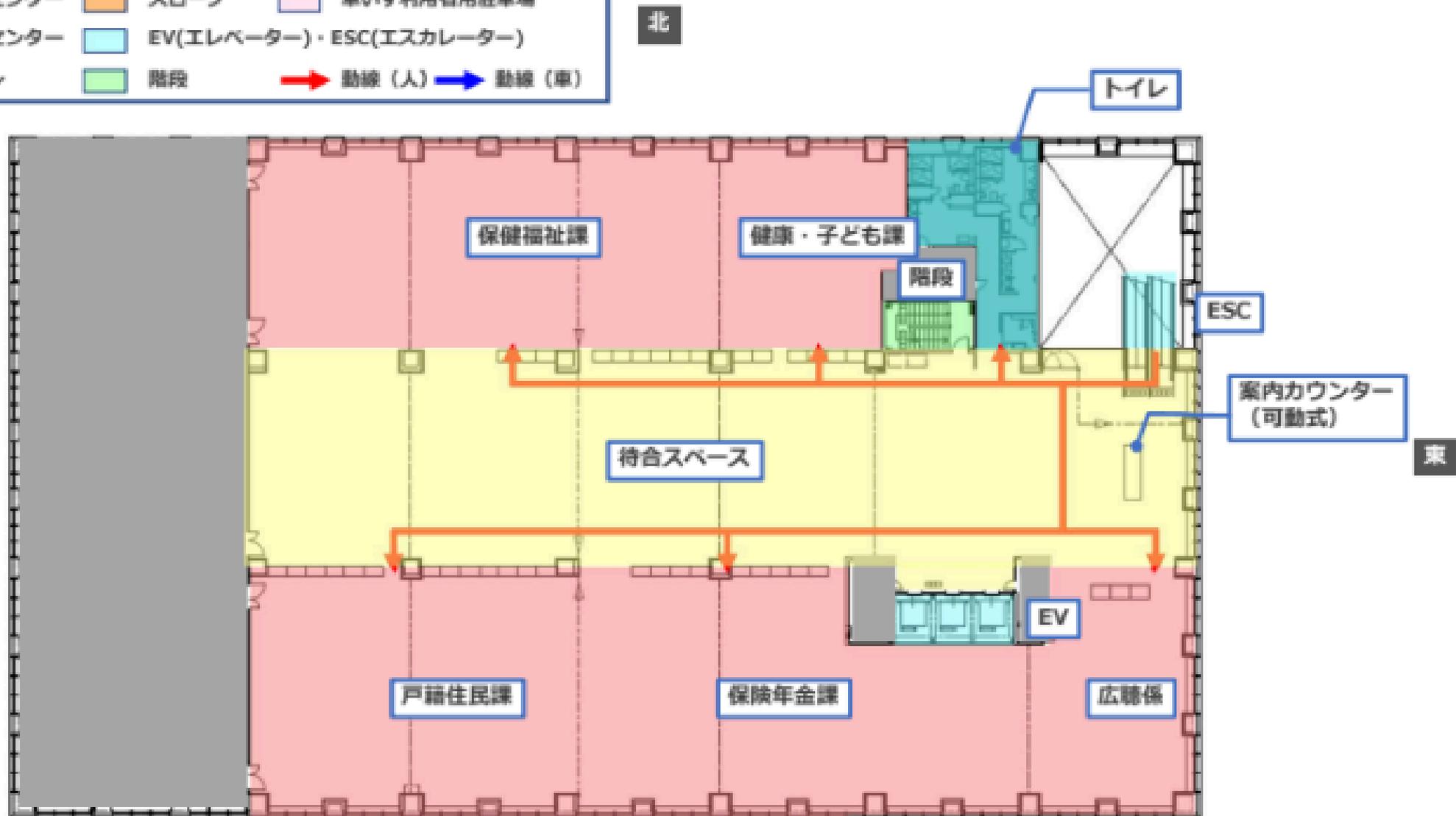
計画地  
(旧中央区役所の敷地)



# 計画平面図：1階平面図



- 【凡例】
- |        |                         |  |
|--------|-------------------------|--|
| 区役所    | 共用廊下等                   | 敷地内の通路等  |
| 保健センター | スロープ                    | 車いす利用者用駐車場   |
| 区民センター | EV(エレベーター)・ESC(エスカレーター) |  |
| トイレ    | 階段                      | <span style="color:red">→</span> 動線(人) <span style="color:blue">→</span> 動線(車) |



## II 中央市税事務所移転整備事業（施工段階）のバリアフリーチェックの概要

### 1 実施日時

令和7年3月24日（月）

### 2 事業（施設）名称

中央市税事務所移転整備事業

### 3 チェック時期

施工段階

### 4 事業実施部局

財務局税政部税制課税制係

### 5 チェック実施者

札幌市身体障害者福祉協会 4名

札幌市老人クラブ連合会 2名

### 6 チェック参加者

公共的施設のバリアフリー部会委員 6名

※オブザーバー 1名

## 7 バリアフリーチェック内容

	意見	考え方
1	<p><b>【各階】</b>            供用開始前に机椅子やカウンター等の什器が揃った状態を見ることは可能か。            また、サインについても設置前にデザインや色などを確認したい。</p>	<p><b>【各階】</b>            机や椅子、カウンターなどの什器は基本的には引っ越しの直前まで使用しているものをそのまま持ち運んで使用する予定であるため、供用開始前に什器が入った状態をお見せすることはできません。            サインについては、別添資料のサイン案を作成いたしましたので、ご確認ください。</p> <p>(追記)            ご参考まで、移転前の中央市税事務所で使用中のカウンターのサンプル写真をご用意しましたのでご確認ください。移転後は市民利用スペースより床が嵩上げされたOAフロアの上に設置するため、現状より5cm程度高くなる見込みです。</p>
2	<p>OAフロアでスロープ状になっている箇所の色を変えて目立たせないとし、スロープの判別ができない。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、注意喚起用テープを貼るなどし、スロープ部分が見やすくなるようにいたします。</p>
3	<p>サインについて、設置前にデザインや色などを確認したい。</p>	<p>サインについては、別添資料のサイン案を作成いたしましたので、ご確認ください。</p>
4	<p><b>【1階】</b>            納税相談ブースの扉が外開きになっており、横を通る人とぶつかる危険性があるのではないか。</p>	<p><b>【1階】</b>            ご指摘を踏まえ、扉を移設するよう検討いたします。</p>
5	<p>納税相談ブース横の扉を開けるとすぐにスロープになっている箇所があり、車いすでの扉の開け閉めができないのではないか。</p>	<p>扉の先は書庫となっており、市民が誤って入ってしまう可能性があることも踏まえ、当該扉は開け閉めができないようにし、使用しないことといたします。</p>
6	<p>点字ブロックの色が灰色となっている箇所があり、床の色と同系色となっているため、見えにくい。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、点字ブロックの色を黄色に変更いたします。</p>
7	<p><b>【6階】</b>            男子トイレの扉が開ける際、ハンドドライヤーを使用している人とぶつかる危険性があるのではないか。</p>	<p><b>【6階】</b>            ご指摘を踏まえ、当分の間、ハンドドライヤーの使用を禁止し、工事可能な時点でハンドドライヤーの設置位置を変更いたします。</p>
8	<p>点字ブロックが敷設されていない箇所があるため、窓口前まで点字ブロックを敷設してほしい。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、点字ブロック追加で敷設いたします。</p>
9	<p><b>【その他】</b>            設計担当者がバリアフリーチェックの結果を聞いていなければ、その後の改善が見られないため、設計担当者の同席をお願いしたい。</p>	<p><b>【1階】</b>            バリアフリーチェックを所管している障がい福祉課から実施事業部局へ依頼するなどして、可能な限り設計担当者も同席するようにいたします。</p>

10	<p><b>【サイン案】</b> 白抜き文字は、デザインとしてはいいが、やはり読みづらい。</p>	<p><b>【サイン案】</b> 白抜きの文字については文字を黒色で縁取るなどし、コントラスト比が高くなるようにした上で、カラーユニバーサルデザインに適合するサインになるようにいたします。</p>
11	<p><b>【点字ブロック】</b> 色をグレーに決めた経緯を知りたい。</p>	<p><b>【点字ブロック】</b> 床の色に合わせようとしたためグレーに決めましたが、全て黄色に変更いたします。</p>
12	<p><b>【1階トイレ】</b> 和式から洋式便器に取り替えた（斜め）ブースの手すりと紙巻器の取付位置が便器位置より手前（便器側から見て後ろ）にあり、紙巻器は上体をひねることになるので操作がしづらい。</p>	<p>既存の建物付属設備や什器を使用しているため、直ちに改修することはできませんが、今後改修がある際にはご意見を参考にさせていただきます。</p>
13	<p><b>【1階女子トイレ】</b> 一番奥の広めのトイレブースについて、ドア幅を広げて引き戸に取り替え、また、両側に手すりを設置することで、車椅子ユーザーも使えるトイレになる。</p>	
14	<p><b>【6階男子トイレ】</b> 洗面カウンターにエアタオルを設置しているが、ドアと干渉するため、使い勝手が悪い。 既存ドアを撤去して、代わりに踏み込みスペースの手前にパーテーションを設置するなどして目隠しすることはできないか。</p>	
15	<p><b>【6階多機能トイレ】</b> 便器右手側（壁面ではないほう）の固定手すりを可動式（はねあげ）手すりに交換することで、車椅子からの移乗が楽になるほか、介助者による移乗でも、便器に接近するスペースが確保できる。</p>	
16	<p><b>【階段の手すり】</b> ・既存の手すりに別仕様の手すりを増設したため、連結はできないが、できるだけ手すり同士の間があかないようにしてほしい。 ・踊り場の手すりが間接照明との兼ね合いで連続したものになっていない。可能であれば手すりを増設して、できるだけ連続した手すりにしてほしい。</p>	

## 移転計画概要

### 移転概要

中央区役所の複合庁舎化により空室となる中央保健センター及び中央区役所分庁舎に、中央市税事務所を移転させることに伴い、保全改修工事を実施する。

### 移転場所

札幌市中央区南3条西11丁目  
(旧中央保健センター・中央区役所分庁舎)

### 敷地面積

約1,900㎡

### 延べ面積(移転先)

約4,500㎡

### 用途

1・2・5・6階：執務室

### 工事期間(予定)

2023年度から2024年度

### 供用開始(予定)

2024年度下期

## 計画敷地図



改修後平面図：1階



**凡例**

↔	↔	◀	入口動線 (段差無)
→ 主要な来館者経路 (段差無し)			
↔	↔	◀	入口動線 (段差有)
→ 主要な来館者経路 (段差あり)			
■	EV	■	窓口
■	階段	■	執務室
■	トイレ	■	駐車場

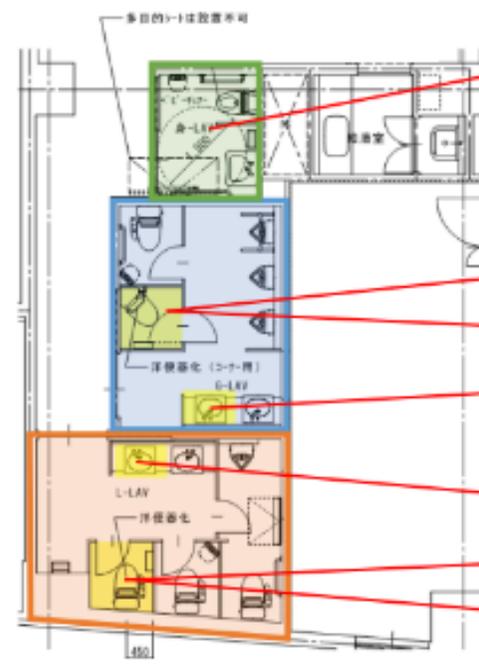
※上記記載内容は現時点でのものであり、今後変更になる可能性があります。

## 1Fトイレ

●改修前



●改修後



## ■多機能トイレ

- 車いす用トイレ
- 車いす用洗面器
- ベビー用チェア

## ■男子トイレ

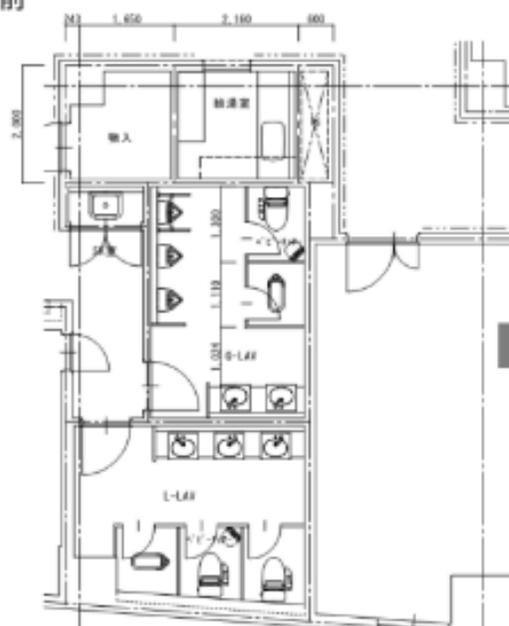
- 和式便器→洋式便器
- ブースに手すり設置
- 洗面に手すり設置

## ■女子トイレ

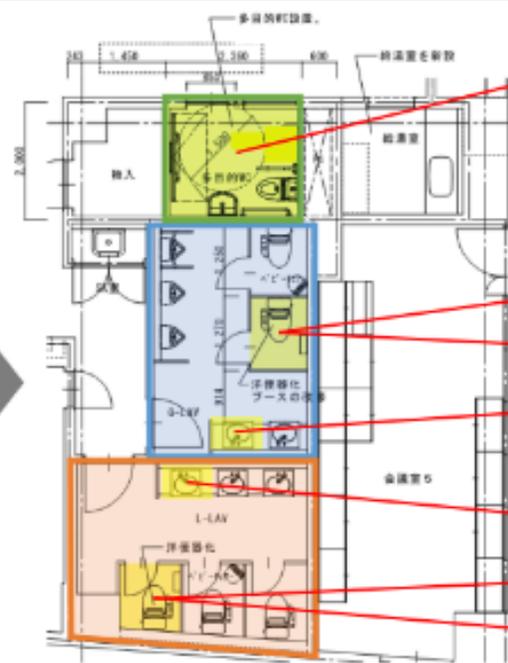
- 洗面に手すり設置
- ブースに手すり設置
- 和式便器→洋式便器

## 2Fトイレ

●改修前



●改修後



## ■多機能トイレ

- 車いす用トイレ
- 車いす用洗面器
- 多目的シート

## ■男子トイレ

- 和式便器→洋式便器
- ブースに手すり設置
- 洗面に手すり設置

## ■女子トイレ

- 洗面に手すり設置
- ブースに手すり設置
- 和式便器→洋式便器

12

### III 藻南公園再整備事業（設計段階）のバリアフリーチェックの概要

- 1 実施日時  
令和7年6月5日（木）
  
- 2 事業（施設）名称  
藻南公園再整備事業
  
- 3 チェック時期  
設計段階
  
- 4 事業実施部局  
建設局みどりの推進部みどりの推進課事業推進係
  
- 5 チェック実施者  
札幌市身体障害者福祉協会 4名  
札幌市老人クラブ連合会 1名
  
- 6 チェック参加者  
公共的施設のバリアフリー部会委員 6名  
※オブザーバー 1名

## 7 バリアフリーチェック内容

	意見	考え方
1	【視覚障害者誘導用ブロック】 誘導用ブロックは設置するの か。設置するとしたらどのあたりに 設置するのか。	【視覚障害者誘導用ブロック】 パークセンターの出入り口や、階段・ スロープの踊り場などに設置予定です。
2	視覚障がい者の中には、一般道 路より車の心配がなく歩ける公園 内を散策する方もいるため、公園 の出入り口を発見しやすいよう に、出入口にも誘導用ブロックが あると良い。	公園の出入り口への誘導用ブロック設 置を検討します。
3	【優先駐車場】 注意看板にある「移動に配慮が 必要な方の優先利用にご協力くだ さい」は記載しないほうが良い。	【優先駐車場】 記載しないようにします。
4	優先ではなく、専用にした方が 良いのではないか。	「専用」とすることも検討しまし たが、公園では初めての取組のため、ま ずは「優先」として利用状況を見ていく 方向としたいと考えています。
5	【トイレ】 オムツを捨てるゴミ箱や、車椅子 使用者用トイレ内のゴミ箱は、 なるべく大きく、高さのある物が 良い。（車椅子利用者も使いやすい ように）	【トイレ】 オムツを捨てるゴミ箱や、車椅子使用 者用トイレ内のゴミ箱は、車椅子利用 者も使いやすいような物を設置するよ うにします。
6	パークセンター以外の場所にも 車椅子使用者が利用できるトイレ があると良い。	公園の中央付近にも車椅子使用者が利 用できるトイレを新設する予定です。
7	【園内全般】 高低差があるような危険箇所は 柵等をもうけるのか。	【園内全般】 高低差のある法面には転落防止策とし て柵の設置を検討します。

## ■ 藻南公園再整備 事業概要

R7.6 札幌市建設局みどりの推進部

### ▶ 藻南公園について

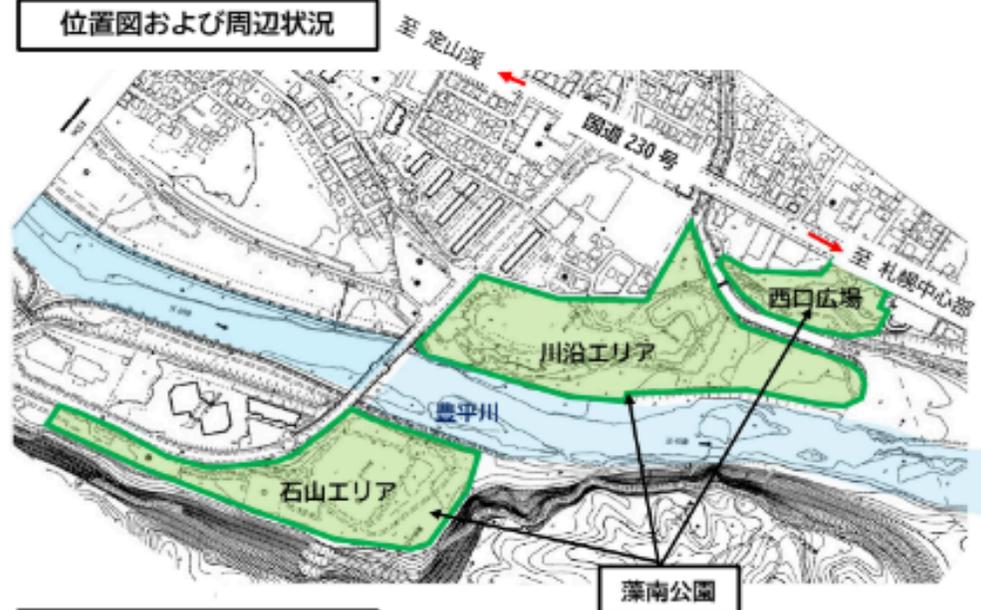
藻南公園は豊平川の上流に位置し、雄大な自然に囲まれながらバーベキューやスポーツを楽しむことができ、広く市民に親しまれている総合公園である。

昭和32年（1957年）の開設以降、部分的な施設改修や拡張整備を行ってきたが、施設全体の老朽化が進んでいるほか、駐車場の不足やバリアフリーへの未対応といった課題が生じている。

上記の課題解消や公園全体の利便性・魅力の向上を目的とし、令和4年度から再整備に向けた調査・検討作業を進めている。大きなゾーニングの変更は行わないものの、一部のエリアで機能再編を行うなど、公園全体の再整備に向けた検討を行っている。

- ◆所在地：札幌市南区川沿9～11条1丁目  
真駒内柏丘7, 8, 12丁目
- ◆面積：約31.3ha
- ◆供用開始：昭和32年度（1957年度）
- ◆公園種別：総合公園
- ◆改修概要：管理事務所、野球場、テニスコート、パークゴルフ場、遊戯広場、ステージ、芝生広場、トイレ、園路等

### 位置図および周辺状況



### 事業スケジュール

- 令和6年度：基本設計
- 令和7年度：実施設計
- 令和8～10年度：川沿エリア・西口広場の整備
- 令和11～12年度：石山エリアの整備

川沿エリアの現況（園路）



川沿エリアの現況（管理事務所）



西口広場の現況（園路）



石山エリアの現況（駐車場）



## 施設および園路計画

### 1. 移動円滑化経路

再整備事業で改修する主な施設は、管理事務所、トイレ及び駐車場を初め、各広場に整備する水飲台、シェルター、野外ステージとなる。これらの施設に対するアプローチ園路については、全て移動等円滑化園路として整備を予定している。

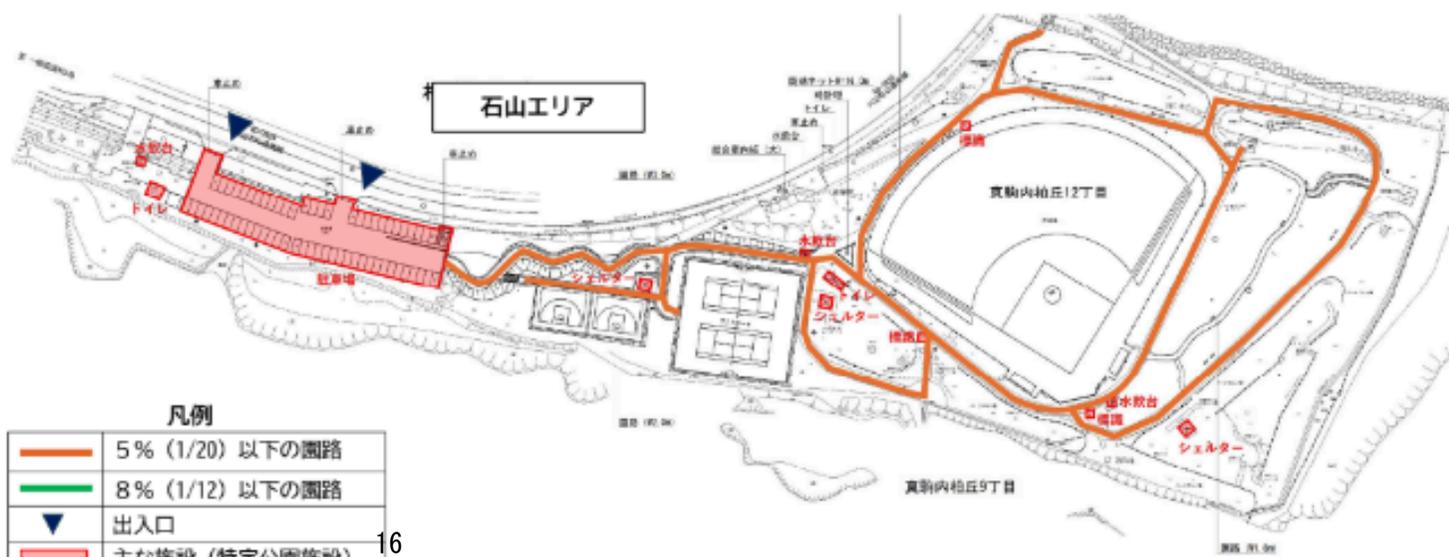
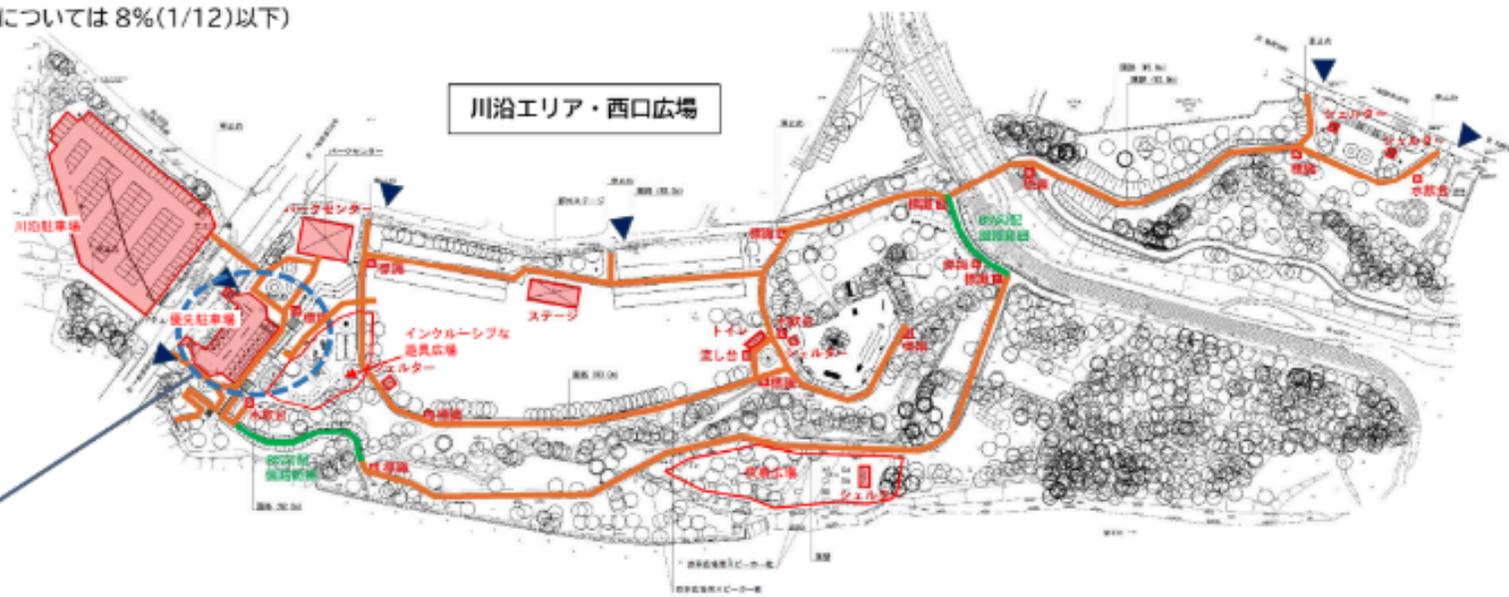
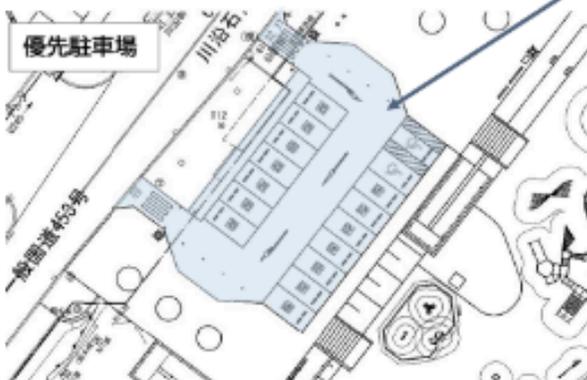
- ・移動円滑化経路の幅員は、1.8～3.0m
- ・勾配は、5%(1/20)以下(現況の地形上やむを得ない箇所については8%(1/12)以下)
- ・高さ50cmごとに150cm以上の平坦部を設ける。

### 2. 駐車場

・川沿エリアと優先駐車場の駐車台数合計130台のうち、車いす用駐車区画を川沿駐車場へ1台、優先駐車場へ2台、優先駐車場には車いす用駐車区画のほかに14台の優先駐車区画を整備する予定。

・石山エリアは駐車台数63台のうち1台を車椅子用駐車区画とした。

・優先駐車区画は、車いす利用者だけでなく、全ての障がい者を対象としている。優先駐車区画の利用の考え方を示す注意看板の設置や、駐車区画へのシートの貼り付け等を行い、優先駐車場の運用について利用者へ喚起したい。



凡例

	5% (1/20) 以下の園路
	8% (1/12) 以下の園路
	出入口
	主な施設 (特定公園施設)

# 建築計画（パークセンター）

パークセンター平面図

- 【出入口】
- ・風除室
  - ・動線にあわせた点字ブロックの設置
  - ・自動ドア
  - ・段差がなく滑りにくい床
  - ・案内表示（ピクトサイン）

- 【ベビールーム】
- ・授乳室2箇所
  - ・オムツ交換台2基
  - ・流し台（給湯器）
  - ・ソファ2台

- 【多目的トイレ】
- ・オストメイト設備
  - ・介助用ベッド
  - ・ベビーチェア
  - ・おむつ交換台

- 【受付】
- ・車いす利用者対応のカウンター
  - ・案内表示（ピクトサイン）
  - ・荷物置き場（ソファ）

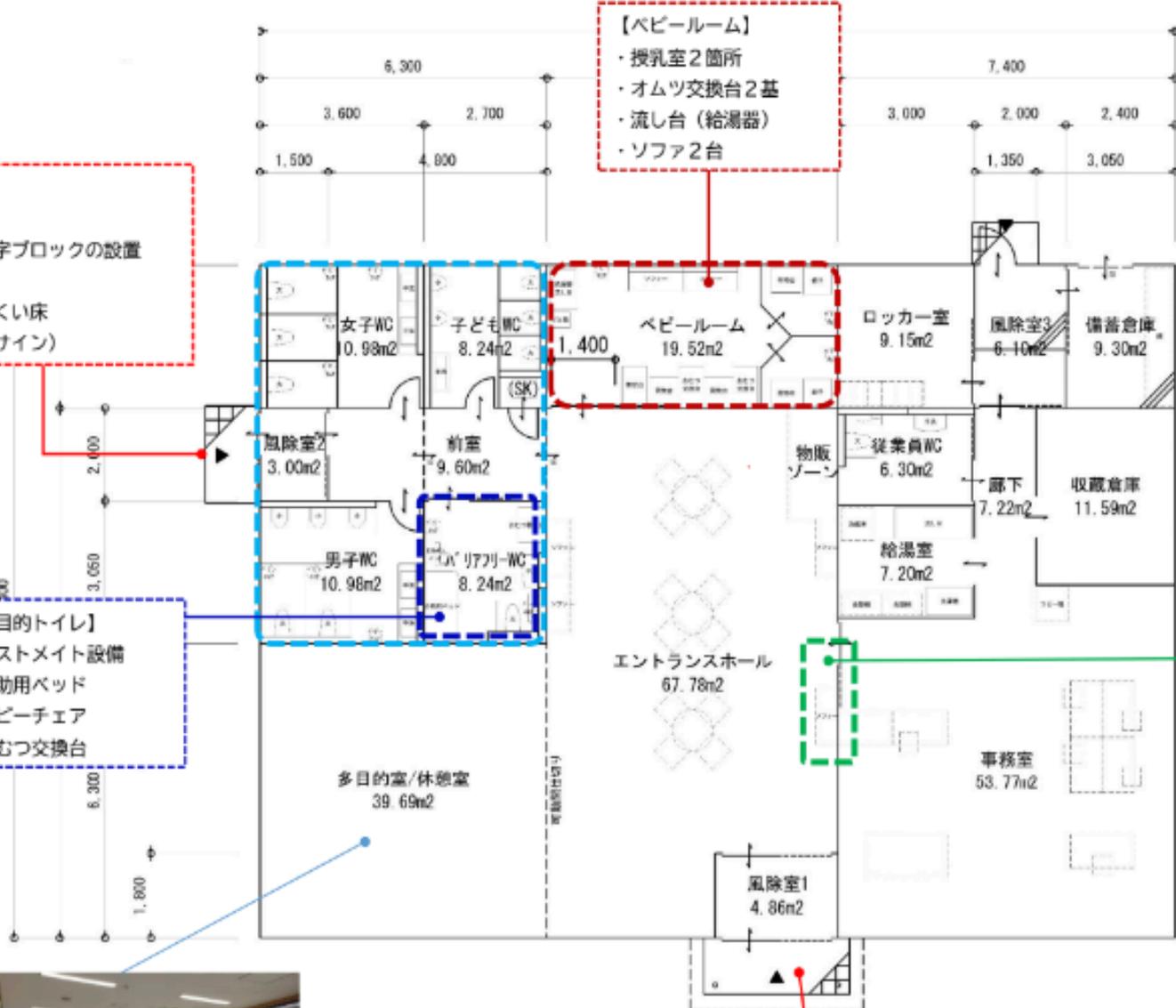


多目的室・休憩室のイメージ



受付のイメージ

- 【出入口】
- ・風除室
  - ・動線にあわせた点字ブロックの設置
  - ・自動ドア
  - ・段差がなく滑りにくい床
  - ・案内表示（ピクトサイン）



#### IV 厚別山本公園整備事業（設計段階）のバリアフリーチェックの概要

- 1 実施日時  
令和7年6月5日（木）
- 2 事業（施設）名称  
厚別山本公園整備事業
- 3 チェック時期  
設計段階
- 4 事業実施部局  
建設局みどりの推進部造園担当課造園一係
- 5 チェック実施者  
札幌市身体障害者福祉協会 4名  
札幌市老人クラブ連合会 1名
- 6 チェック参加者  
公共的施設のバリアフリー部会委員 6名  
※オブザーバー 1名

## 7 バリアフリーチェック内容

	意見	考え方
1	【管理棟トイレ】 ベビールームがなく、できればおむつ交換台があるとよい。	【管理棟トイレ】 実施設計にて検討します。
2	手洗い時に扉が開閉したらぶつかりそうに見える。	実施設計にて検討します。
3	(手洗い時に扉が開閉したらぶつかりそうに見えるため、扉を)引き戸にできないか。	実施設計にて検討します。
4	【インターロッキングの広場】 インターロッキングの広場は経年で段差が出来たり、目地にタイヤが引っかかるなど、車いす利用者にとって使いづらいため、アスファルトの方が良い。	【インターロッキングの広場】 極力目地や段差のないものを使用することや、アスファルトにインターロッキング調の模様を施したものの使用を検討します。
5	【公園入口】 公園入口付近に、公園案内板のようなものは設置されるか。	【公園入口】 実施設計にて検討します。

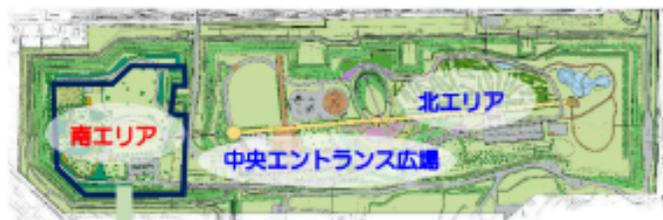
## ➤ 厚別山本公園について

厚別山本公園は、廃棄物の最終処分場である山本処理場(全体面積約 270ha)のうち、埋立が完了した山本地区(約 52ha)を事業地とする総合公園です。公園整備計画の策定にあたっては、①札幌の自然環境を生かしながら、市街地を緑の帯で包み込もうとする「環状グリーンベルト構想」の拠点のひとつ、②休息や観賞、散歩、運動などを目的に市民が総合的に利用できる公園、を基本的な考え方としています。

平成 22 年度に策定された基本計画において、市民参画により、厚別山本公園のコンセプトを『みどり環境づくりのシンボルとなる公園』と定め、ゾーニングなどを計画しています。

- ◆所在地:札幌市厚別区厚別町山本 1065-1 ほか
- ◆面積:約 52ha  
(都市計画面積、山本東地区検量所など含む)
- ◆公園種別:総合公園
- ◆整備概要:  
パークゴルフ場(36H)、遊戯広場、多目的広場、展望広場、  
ビオトープエリア、環境創造林、園路、駐車場、大花壇、アクションスポーツ広場、管理棟、トイレ、植栽等

### 位置図



### 南エリア



### 事業スケジュール

- 令和7年度: 実施設計
- 令和8年度: 森の遊び場の整備
- 令和9年度: サイクル広場・管理棟の整備
- 令和10年度: 交流広場



ヤマグワ



ドロノキ

1. 施設計画

厚別山本公園南エリアは、ゴミ埋立完了から十数年が経過し、先駆種による樹林が形成されるなど自然豊かな環境です。南エリアの整備コンセプトを「自然を育む」・「自然を体感する場所」とし、既存の樹林や草原を活かした整備内容とすることとしています。

1-1 森の遊び場

上記のコンセプトより、既存の樹木等を活かした「森の遊び場」を整備します。森の遊び場は、4つの遊具エリアで構成されそれぞれの整備内容は下記のとおりです。

<草の迷路>

既存の草原をいかし草地を2.0m幅で刈り込むことで迷路をつくります。

<ワクワク広場>

周辺環境になじむような木製で、児童用のアクティブなアスレチック遊具を配置します。

<グルグル広場>

厚別山本公園にしかないようなインスタ映えする魅力的な遊具となるよう、競争性やチャレンジ精神を刺激し、多様な遊びができる遊具を設置します。

<ユラユラ広場>

車いすでも遊べる座面タイプのブランコや、体幹が弱い子どもでも遊びやすい回転遊具等を設置します。

<モクモク広場>

既存の大木の下でプレーパーク(自然遊び)ができるような自由広場を設けます。



1-2 サイクル広場

小さい子から大人まで楽しむことができるサイクルコースを検討しています。使用する自転車は、管理者が有料で貸し出しすることを想定しています。

1-3 交流広場

南エリアの中央付近には、炊事広場としても活用できる交流広場を検討しています。

2. 移動円滑化経路

整備する主な施設である管理棟、トイレ、駐車場、一部の遊具広場へつながる園路について、移動円滑化経路として全て5% (1/20) 以下となるよう計画しています。

森の遊び場のうち草の迷路・ワクワク広場・グルグル広場・モクモク広場の地面は木チップ舗装を予定しています。

なお、森の遊び場のうち車いすでの使用を想定している「ユラユラ広場」の地面は、ゴムチップ舗装を予定しています。

3. 駐車場

南エリアは、一般車72台、車いす用駐車区画2台、バス用駐車区画5台、合計79台の駐車場を整備します。

凡例

	5% (1/20) 以下の園路
	出入口
	主な施設 (特定公園施設)

ワクワク広場に設置予定の遊具(アスレチック遊具)

○サスケジャンプ



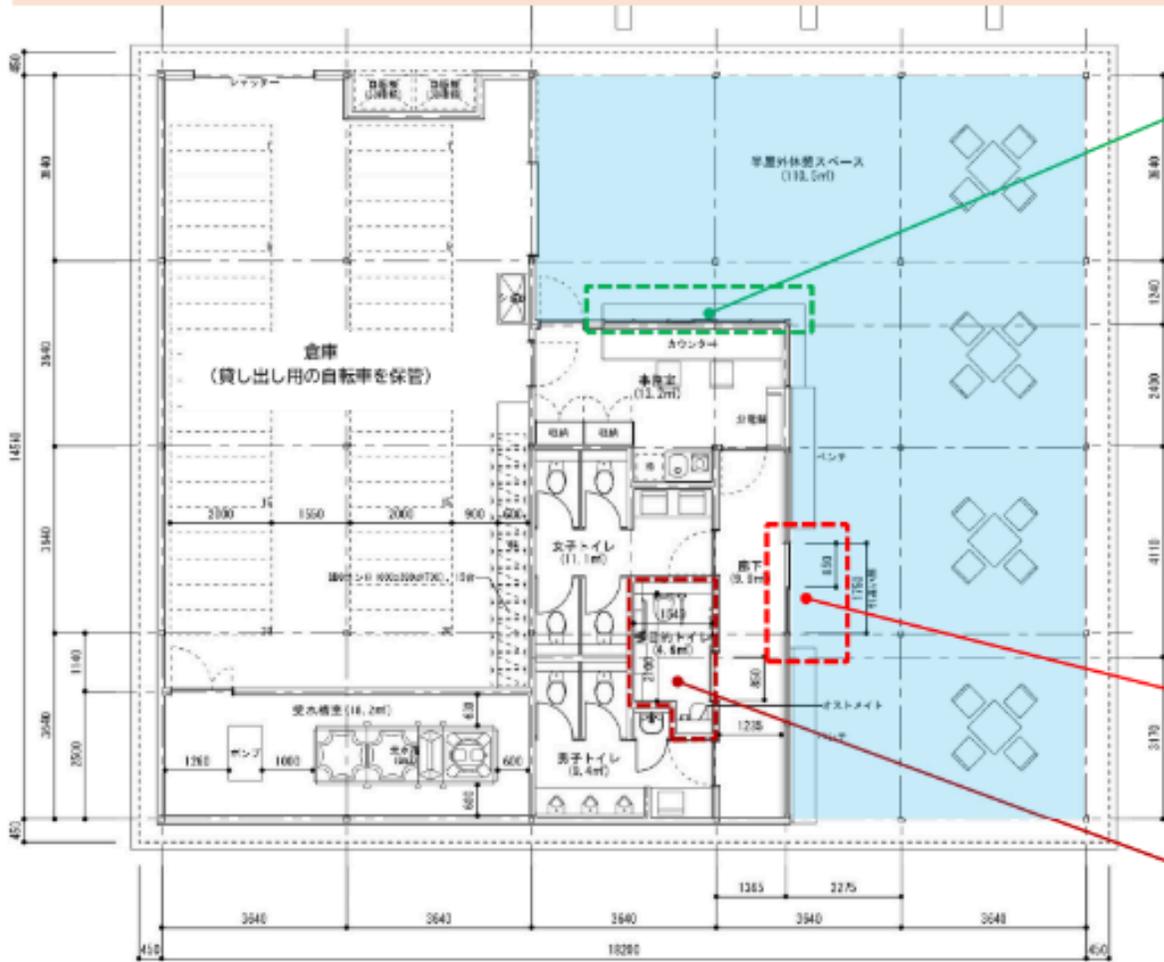
○塔



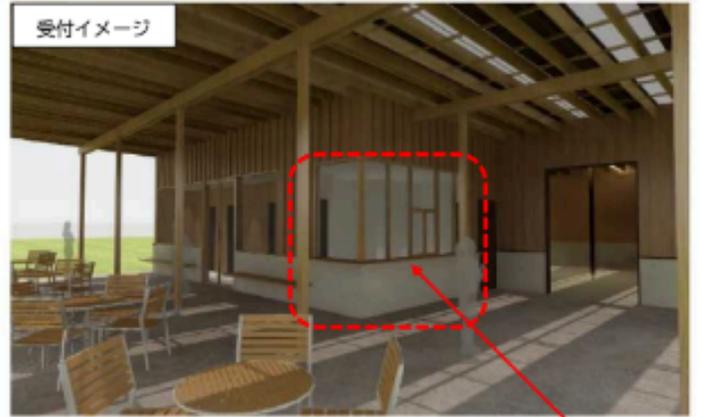
ユラユラ広場に設置予定の遊具(ユニバーサル対応)



# 建築計画（南エリア管理棟）



**【受付】**  
 ・車いす利用者対応のカウンター  
 ・案内表示（ピクトサイン）



受付カウンター

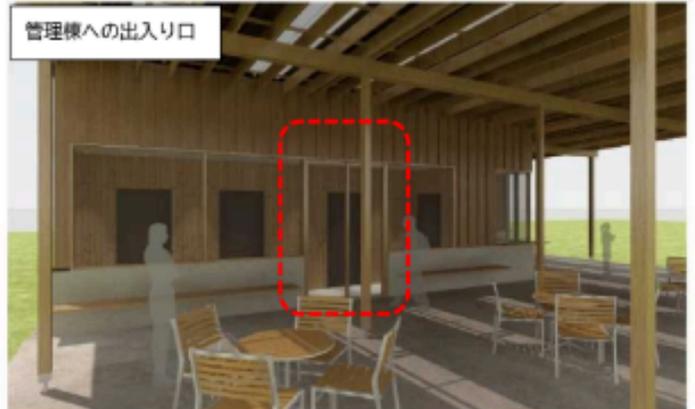
**【出入口】**  
 ・風除室（廊下）  
 ・動線にあわせた点字ブロックの設置  
 ・自動ドア  
 ・段差がなく滑りにくい床  
 ・案内表示（ピクトサイン）

**【多目的トイレ】**  
 ・オストメイト設備

屋外休憩スペースのイメージ



管理棟への出入口



## V (仮称) 新展示場整備事業 (設計段階) のバリアフリーチェックの概要

- 1 実施日時  
令和7年6月26日(木)
- 2 事業(施設)名称  
(仮称) 新展示場整備事業
- 3 チェック時期  
設計段階
- 4 事業実施部局  
経済観光局産業振興部流通担当課展示場整備担当係
- 5 チェック実施者  
札幌市身体障害者福祉協会 3名  
札幌市老人クラブ連合会 3名
- 6 チェック参加者  
公共的施設のバリアフリー部会委員 6名  
※オブザーバー 1名

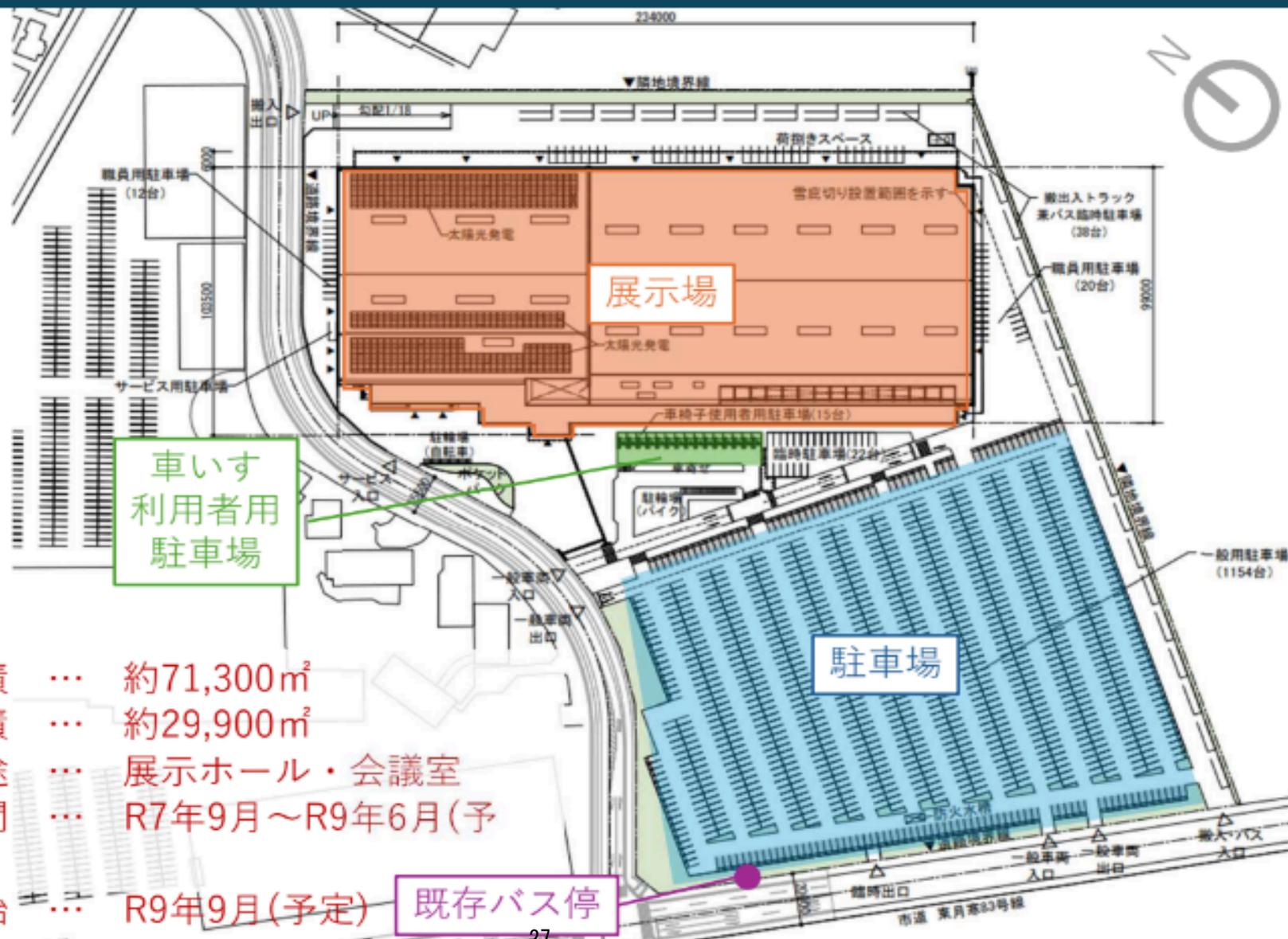
7 バリアフリーチェック内容

	意見	考え方
1	<p>【トイレ】                      トイレについて、便座と紙巻器が離れているように見えるトイレが何か所かある（広めの便房）。立ち上がるときに壁等がないとご高齢の方は立ち上がれないため、近づけてほしい。できれば座った中心から壁まで40cmくらいだといいのではないか。</p>	<p>【トイレ】                      便座と紙巻器の位置については、適切な位置となるよう検討します。</p>
2	<p>できればトイレに、手すりや支えにできる強度のある紙巻器を設置してほしい。一般トイレにも手すりを付けてほしい。</p>	<p>紙巻器は支えにもなるよう耐荷重600N（61.2kg）のものを採用予定です。一般トイレにも各トイレ男女1箇所ずつ耐荷重1000N（102kg）の手すりを設置予定です。</p>
3	<p>WC2の一番左上にあるトイレについて、もう少し入口を広げれば車いすが出入りできそうであるため、検討していただければと思う。</p>	<p>当該部に至る経路において幅員確保が難しいこと及び十分な数のHWCを設けていることから、原案どおり進めることについてご理解下さい。</p>
4	<p>ベビーベッドとベビーチェアの位置、逆の方がいいのではないか？</p>	<p>レイアウト上可能かどうか検討します。</p>
5	<p>あちこちにいろいろな種類のトイレがあるのはなぜか。どこに何があるのかわからないのではないか。</p>	<p>近年のトイレ設計の考え方に則り、主に高齢者・障がい者が利用するHWCと乳幼連れ利用者や性的マイノリティの方などが利用する男女共用の広々トイレを分けて整備しています。ベビーチェアの有無やトイレ内の設備などはトイレ出入口付近にピクトグラムを表示して分かるようにする予定です。また、エントランスの案内への記載も検討します。</p>

6	HWCに汚物入れと普通のゴミ箱を分けて設置するようにしてほしい。	運営段階でゴミ箱を追加するなどの対応を検討します。
7	HWCの手すりは跳ね上げ式か。	跳ね上げ式です。
8	便所個室にてベビーチェアがドア付近に設置されているため、鍵を開けてしまいそうで心配。	鍵を2個つけるなどの対応を検討します。
9	【触知図】 触知図について、前回の案はトイレ全体にかかっており、今回の案ではHWCのみになっているが、一般のトイレにはつけないということか。トイレの構造把握のためにも、一般用トイレにもつけた方がいいのではないか。	【触知図】 触知図の範囲については、様々な意見をいただいたので、他の対応策も含めて検討します。
10	トイレの触知図について、便所全体だと情報量が多すぎてわかりにくいいため、HWCだけでも十分。一方、触知図自体も分かる人が少なく、HWCは広く迷ってしまうこともあるため音声案内を付けてほしい。	検討します。
11	【サイン】 サインに色がついたのはいいが、ピクトサインの大きさが変わってない。もう少し大きいデザインにしたほうがいいのではないか。	【サイン】 ピクトサインの大きさは次のバリアフリーチェックの機会に検証します。
12	【フック】 HWCのフック、床面から140cmと200cmの2か所を検討とあるが、どちらも高すぎるのではないか。低い方は70cmくらいの方があらゆる人にとって使いやすいのではないか。	【フック】 フック位置は、使いやすい高さを次のバリアフリーチェックの機会に検証します。

13	<p><b>【駐車場】</b> 車いす駐車場自体にロードヒーティングがない。雪が積もると対応が難しいので整備してほしい。</p>	<p><b>【駐車場】</b> 元々は維持管理業者による除雪対応の想定でしたが、検討します。</p>
14	<p><b>【車寄せ】</b> 車寄せに庇が必要である。予算の都合といってもカーポートのようなものならそこまでお金がかからないはずだ。</p>	<p><b>【車寄せ】</b> 予算の都合上難しいため、運用段階で収益を得た際に設置することなどを検討します。</p>
15	<p><b>【インターホン】</b> インターホンを設ける場所は人の出入りが多いところだと人にぶつかる、白杖を振れないなどのリスクがあるためいい場所を検討してほしい。音声案内などがあるとよい。</p>	<p><b>【インターホン】</b> 詳細位置含めて検討します</p>
16	<p><b>【盲導鈴】</b> 公共施設であればエントランスまでの道のりに盲導鈴を付けた方が好ましい。鳴らす頻度は少なくても構わない。</p>	<p><b>【盲導鈴】</b> 検討します。</p>
17	<p><b>【ドア】</b> エントランスのドアは引き戸になっているか。</p>	<p><b>【ドア】</b> 正面ドアの両脇に自動ドアを整備しています。</p>

# 03 事業概要

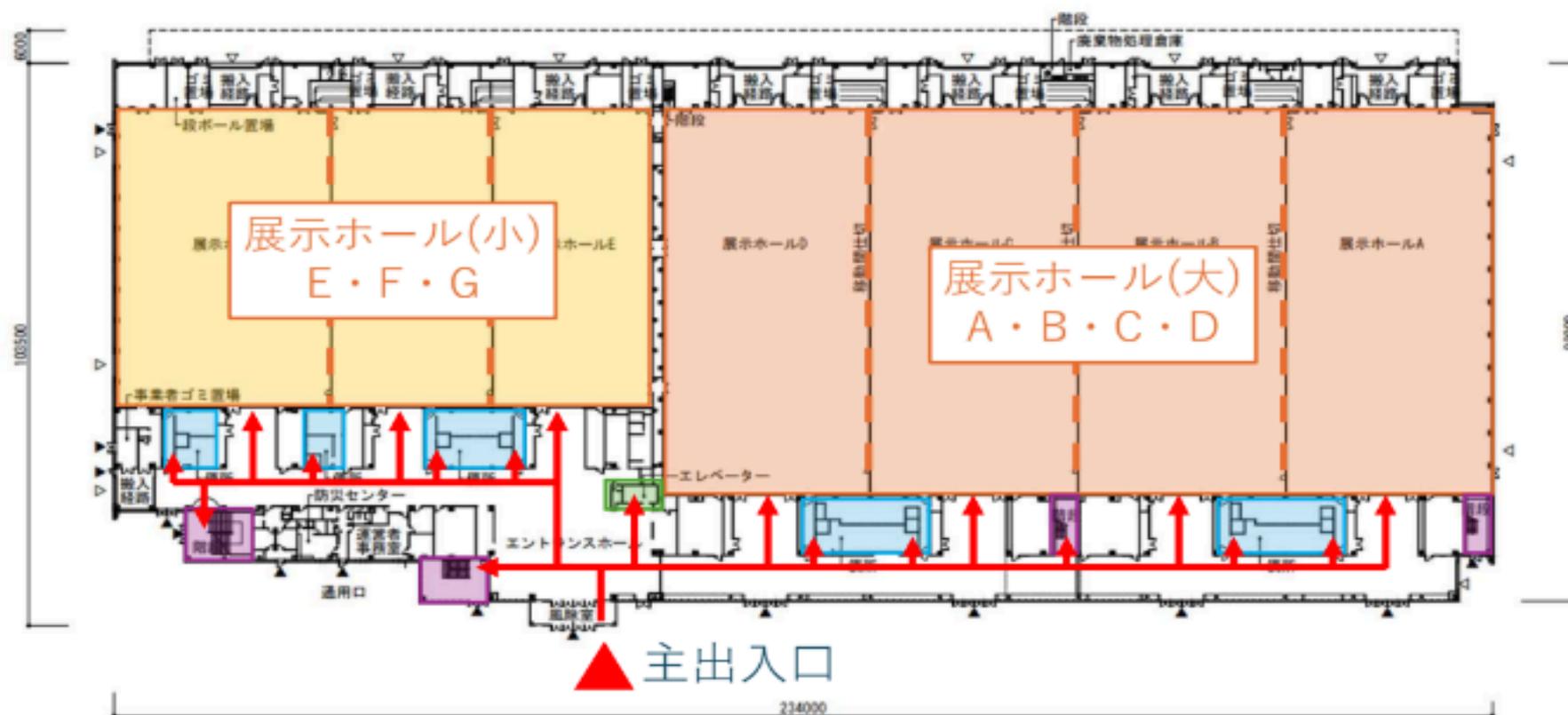


- 敷地面積 … 約71,300㎡
- 延べ面積 … 約29,900㎡
- 主な用途 … 展示ホール・会議室
- 工事期間 … R7年9月～R9年6月(予定)
- 供用開始 … R9年9月(予定)

既存バス停

※上記記載内容は現時点でのものであり、今後変更となる可能性があります。

# 04 プラン概要



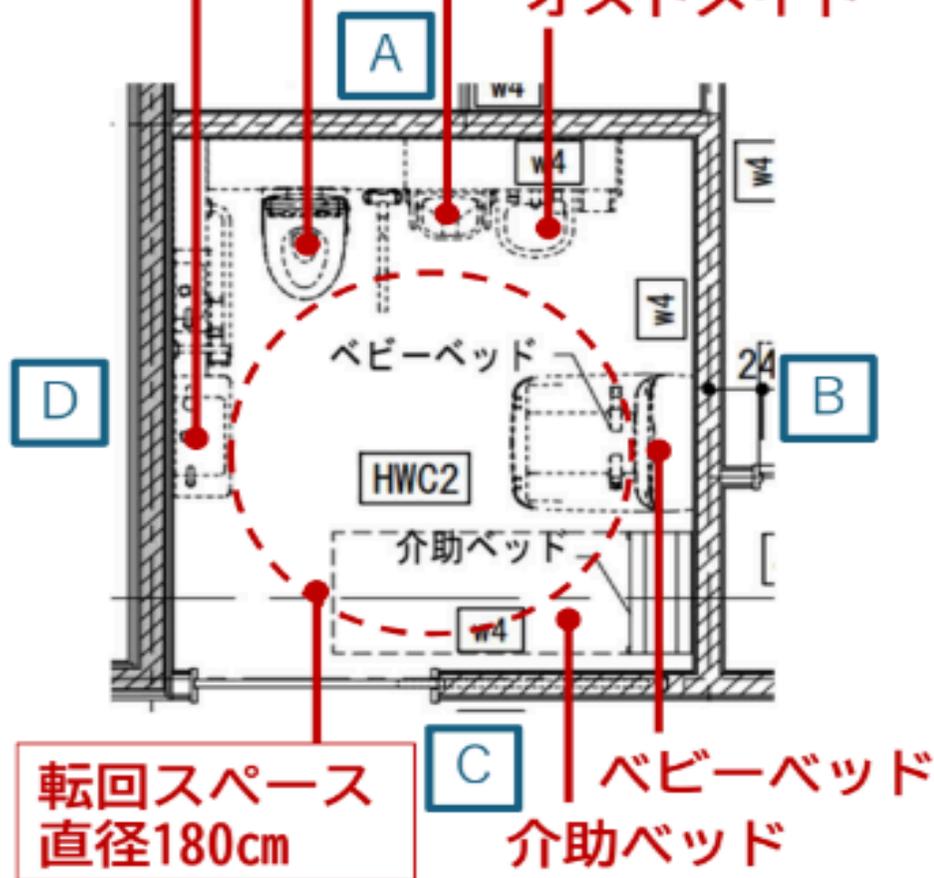
1F

← …主要経路    ■ …階段    ■ …WC    ■ …EV

※上記記載内容は現時点でのものであり、今後変更となる可能性があります。

7

手洗い（鏡付き）  
 大便器（手すり付き）  
 ベビーチェア  
 オストメイト



転回スペース  
 直径180cm

ベビーベッド  
 介助ベッド

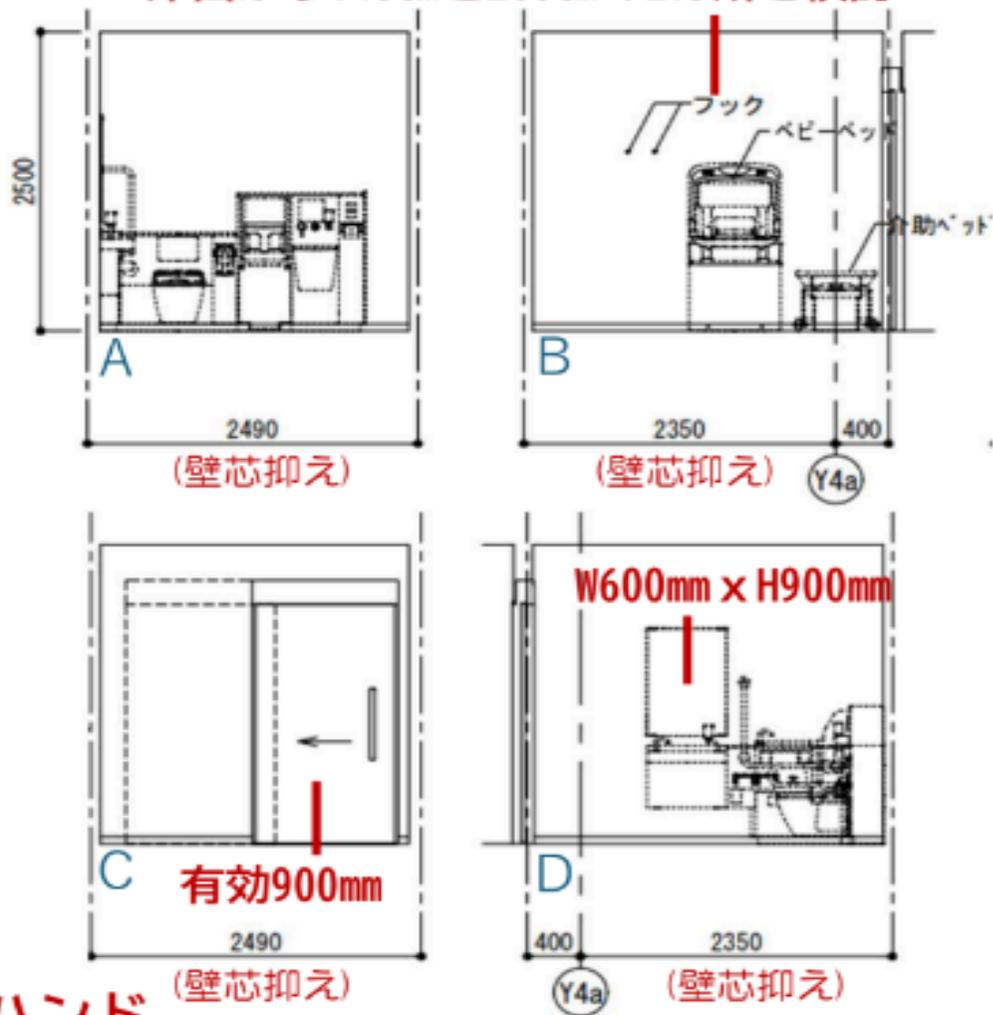
バリアフリートイレ(HWC2)  
 【ゆとりのあるタイプ】

+ハンド  
 ドライヤー

寸法は壁芯のため有効幅は下記数値よりも小さくなります。

HWC9 … 幅2450mm x 奥行3340mm（壁芯押え）

フック  
 床面から140cmと200cmの2カ所を検討



※上記記載内容は現時点でのものであり、今後変更となる可能性があります。